

---

## 闘争委員長の決意

---

新潟労働金庫労働組合  
闘争委員長 浅井 友則

今年度は労使ともにアール・ワンシステム移行への完遂が最重要課題であると認識し、職員は家族・家庭に大きな負担や犠牲を払いながら通常業務に加え、死にもの狂いで、研修や自己学習・移行直前・直後の各種対応をしてきました。

また、今回のシステム移行を通じて、嘱託等労働者の皆さんが果たす役割の大きさや、かけがえのない人財であることを改めて認識しました。嘱託等労働者の皆さんの存在抜きにシステム移行完遂は考えられなかったと実感しています。

今春闘においても、「無期雇用への転換を趣旨とした安定雇用の実現」を中心に、嘱託等労働者に関わる要求を掲げています。雇用への不安を取り除き、その能力を十分に発揮してもらうべく、要求を掲げることは当然のことであるとともに、金庫がそうした環境を整備・構築することは当然の義務です。

各要求項目の獲得に向けて、労組一丸となって今春闘を闘います。